

G-12 現代乳幼児のおかれてゐる環境条件の考察(オ三報)商品玩具について 梅花短大 ○宮脇政子 須見恒子 井上豊子

目的 現代乳幼児のおかれてゐる環境条件のオ三報のつづきとして、購入の動機、購入されてゐるおもちゃの種類をみると、おもちゃはテレビ番組の影響を強く受けてゐる。そこで販売されてゐるおもちゃの実態とテレビ番組の関係を調査し、商品玩具として持つべき性能を考察し、さらに子どもの創造性をのばすよい玩具とは何かを、検討する。

調査項目 1. 百貨店の販売実態
2. 玩具通信(業界紙)に記載されてゐるベストセラー商品の傾向
3. 各テレビ番組のマンガ、コマーシャルなどの商品玩具の番組

結果 予想以上に、テレビ局と玩具メーカーの関係は密接である。資本主義社会で利潤追求が第一となるのは当然であるが、子どもにとっては、有意義な玩具が商品化されることが望ましい。

おもちゃ業界は、おもちゃの安全基準を作成し、STマークをつけてゐるが、子どもにとって、安全性とともに、子どもの成長に即した子どもの情態を豊かにするのに役立つ玩具の開発が望ましい。また業界は販売戦略上、セット化、シリーズ化の傾向にあり、買い整えれば、高価なものになるが、子どもが自ら完成させる余地があり、創造能力を養う玩具が必要である。

買い与える親が、消費者として、より玩具の商品化について、業界への、発言を強めるべきである。